

イーストスプリング・ インド公益インフラ 債券ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

作成対象期間 2024年1月11日～2024年7月10日

(毎月決算型)

第107期 2024年2月13日決算 第110期 2024年5月10日決算
第108期 2024年3月11日決算 第111期 2024年6月10日決算
第109期 2024年4月10日決算 第112期 2024年7月10日決算

(年2回決算型)

第19期 2024年7月10日決算

(毎月決算型)

日経新聞掲載名：インド公益債

第112期末(2024年7月10日)	
基準価額	9,945円
純資産総額	46,486百万円
第107期～第112期	
騰落率	13.5%
分配金(税込み)合計	270円

(年2回決算型)

日経新聞掲載名：インド公益2

第19期末(2024年7月10日)	
基準価額	17,023円
純資産総額	19,485百万円
第19期	
騰落率	13.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

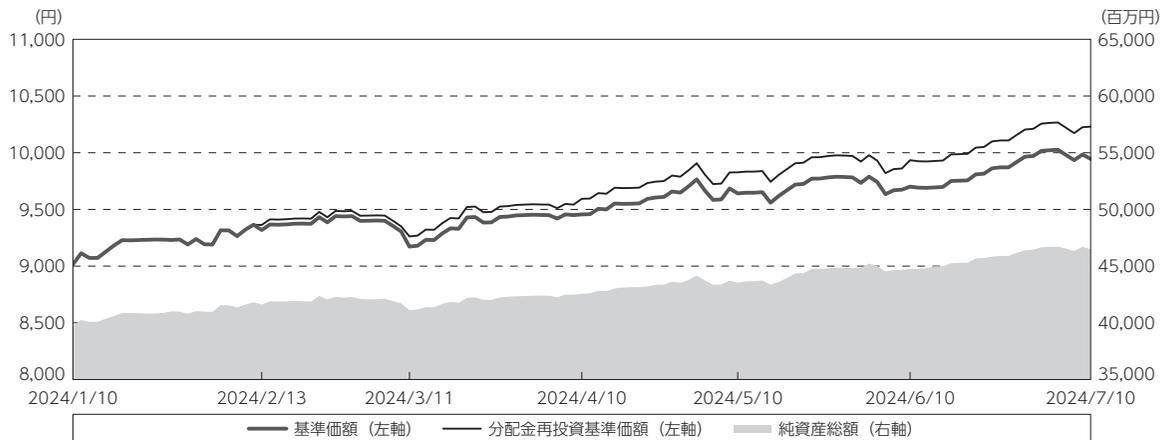
ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

(毎月決算型)

基準価額等の推移について

(2024年1月11日～2024年7月10日)



第107期首：9,016円

第112期末：9,945円 (既払分配金(税込み)：270円)

騰落率：13.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2024年1月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

・インドルピーの対円での上昇。

1 万口当たりの費用明細

(2024年1月11日～2024年7月10日)

項 目	第107期～第112期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	81	0.842	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(39)	(0.410)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.410)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.023	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.017)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(0)	(0.003)	信託管理事務に係る手数料およびインボイスの税務代理人に対する手数料等
(そ の 他 2)	(0)	(0.000)	権利に係る税金、費用等
合 計	83	0.865	
作成期間の平均基準価額は、9,588円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

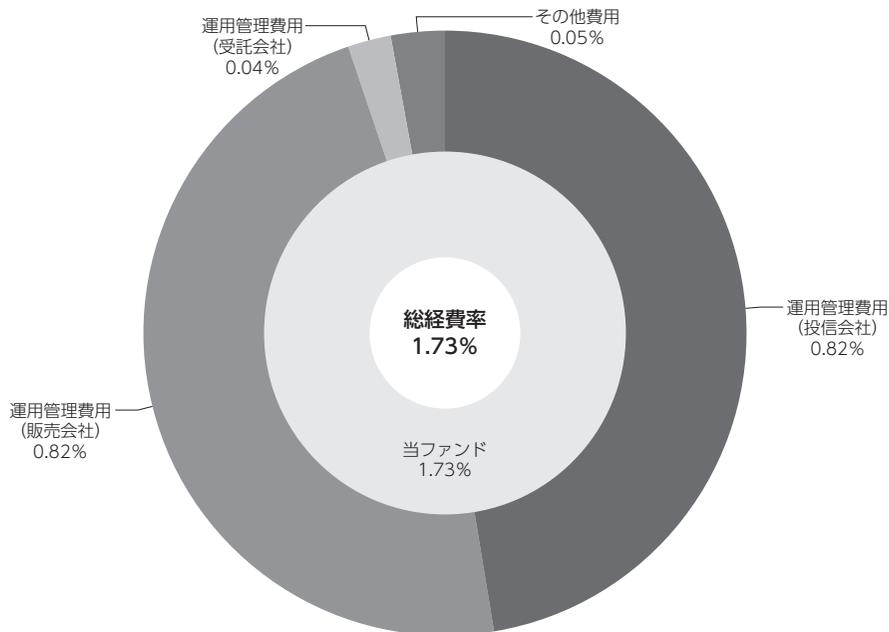
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2019年7月10日～2024年7月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2019年7月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年7月10日 決算日	2020年7月10日 決算日	2021年7月12日 決算日	2022年7月11日 決算日	2023年7月10日 決算日	2024年7月10日 決算日
基準価額 (円)	8,843	7,849	8,295	9,047	9,039	9,945
期間分配金合計(税込み) (円)	—	540	540	540	540	540
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 5.2	12.8	16.2	6.2	16.5
純資産総額 (百万円)	58,747	42,331	31,241	29,213	32,693	46,486

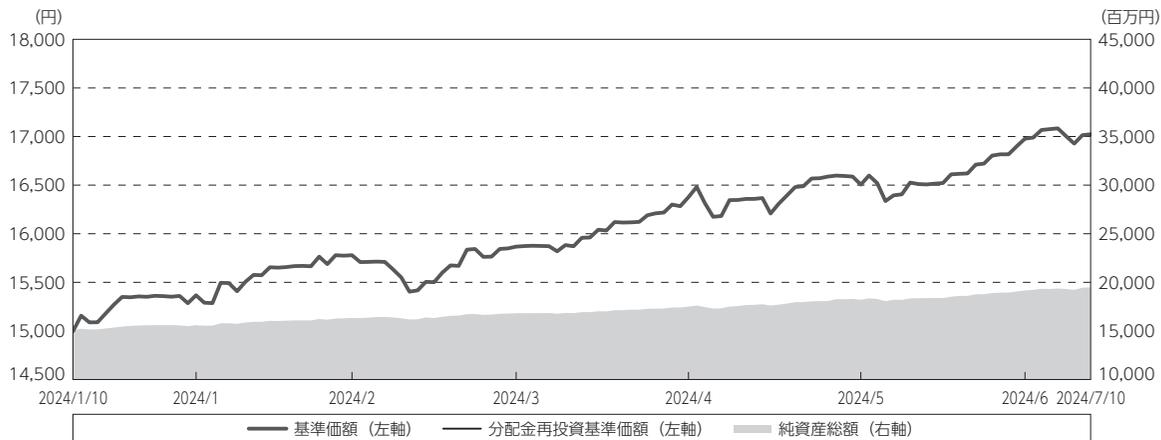
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

運用経過

(年2回決算型)

基準価額等の推移について

(2024年1月11日～2024年7月10日)



期首：14,996円

期末：17,023円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：13.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年1月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・インドルピーの対円での上昇。

1 万口当たりの費用明細

(2024年1月11日～2024年7月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	136 円	0.842 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(66)	(0.410)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(66)	(0.410)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.027	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.017)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(1)	(0.004)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(そ の 他 1)	(1)	(0.003)	信託管理事務に係る手数料およびインドの税務代理人に対する手数料等
(そ の 他 2)	(0)	(0.000)	権利に係る税金、費用等
合 計	140	0.869	
期中の平均基準価額は、16,145円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

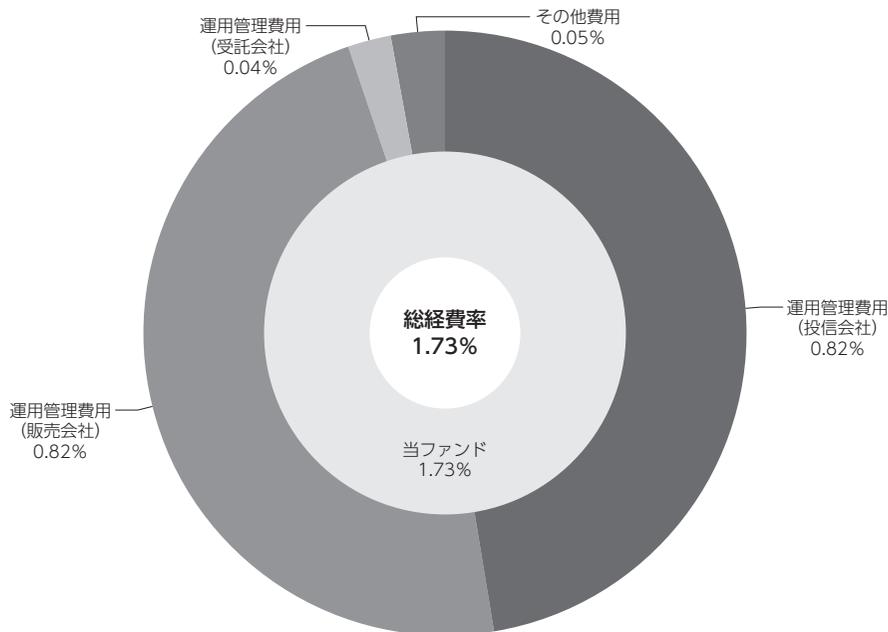
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2019年7月10日～2024年7月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2019年7月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年7月10日 決算日	2020年7月10日 決算日	2021年7月12日 決算日	2022年7月11日 決算日	2023年7月10日 決算日	2024年7月10日 決算日
基準価額 (円)	11,050	10,486	11,831	13,752	14,600	17,023
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 5.1	12.8	16.2	6.2	16.6
純資産総額 (百万円)	20,316	14,063	10,153	9,824	11,774	19,485

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りは低下しました。

当（作成）期初から2024年3月にかけて、インド国債がブルームバーグ新興国債券指数（現地通貨建て）に組み入れられる予定が発表されたことや、インド政府が2月に発表した暫定国家予算案で2024/25年度の市場からの借入計画や財政赤字見通しが市場予想を下回ったことなどから、インド国債の利回りは低下しました。4月は米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ開始が遅れるとの観測や原油価格の高騰、中東情勢の悪化などを背景に米国債金利が上昇したことから、インド国債の利回りも上昇しました。5月以降は、軟調な経済指標などを背景に米国債利回りが低下に転じ、インド国債の利回りも低下しました。インド準備銀行（RBI、中央銀行）理事会が政府に対する過去最高の配当金支払いを承認したことで財政赤字縮小の期待が高まったことや、政府による国債買い戻し計画が発表されたことなども利回りの低下要因となりました。RBIは当期間中は政策金利を据え置きました。社債の対国債スプレッドは小幅に拡大しました。

為替市場

インドルピーは、当（作成）期を通じて対米ドルでは小幅に下落しました。米ドルが対主要通貨で上昇したことや原油価格が上昇傾向にあったことはインドルピーの下落要因となりましたが、インド金融市場への資金流入、RBIによる為替介入などがインドルピーの下落を抑える要因となりました。一方、ドル円相場が日米の金利差拡大および日本当局の為替介入をめぐる思惑などを背景に円安米ドル高が進じたことから、インドルピーは対円では上昇しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当（作成）期は、前半ではRBIの金融政策がしばらく据え置かれると予想される一方で、米国や中東情勢の影響によりインド債券の利回りが上昇した局面では利回り低下余地があるとみて、デュレーションを長期化しましたが、後半は2024年6月上旬の選挙結果を受けて、長期債利回りの低下余地が乏しいと判断したためデュレーションを短期化するなど、戦術的にコントロールしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(毎月決算型)

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2024年1月11日～ 2024年2月13日	2024年2月14日～ 2024年3月11日	2024年3月12日～ 2024年4月10日	2024年4月11日～ 2024年5月10日	2024年5月11日～ 2024年6月10日	2024年6月11日～ 2024年7月10日
当期分配金	45	45	45	45	45	45
(対基準価額比率)	0.481%	0.488%	0.474%	0.465%	0.462%	0.450%
当期の収益	45	33	45	45	45	45
当期の収益以外	—	11	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,139	1,128	1,198	1,381	1,440	1,682

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(年2回決算型)

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2024年1月11日～ 2024年7月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,701

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針について

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

足元では経済は順調に成長しておりインフレ率の伸びもRBIの予想の範囲内であることから、RBIは金融政策スタンスを変更していません。債券市場においては、総選挙の結果や、主にFRBの今後の金利動向に関するコメントなどの外部要因による影響を受け続けると予想しています。総選挙の結果、2024年7月下旬に発表される予算案では、財政再建への道は後回しにされ、農村部や低所得者層向け支出が増加する可能性があります。歳出増が見込まれることから、長期債利回りが今後大きく低下することはないと考えています。当社は引き続き、デュレーションを戦術的にコントロールする投資戦略が有効であると判断し、足元では残存1～3年程度の社債を選好しています。引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

お知らせ

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

2024年9月3日付で交付目論見書（2024年4月10日付の6ページ）および請求目論見書（2024年4月10日付の11ページ）の「主な投資制限」の記載を変更しましたのでお知らせいたします。

2023年10月6日付で約款変更を行い、「デリバティブ取引は投資の対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスクおよび為替相場の変動リスクを減じる目的のため行う」ものとしており、当該約款変更の内容に合わせ、変更するものです。

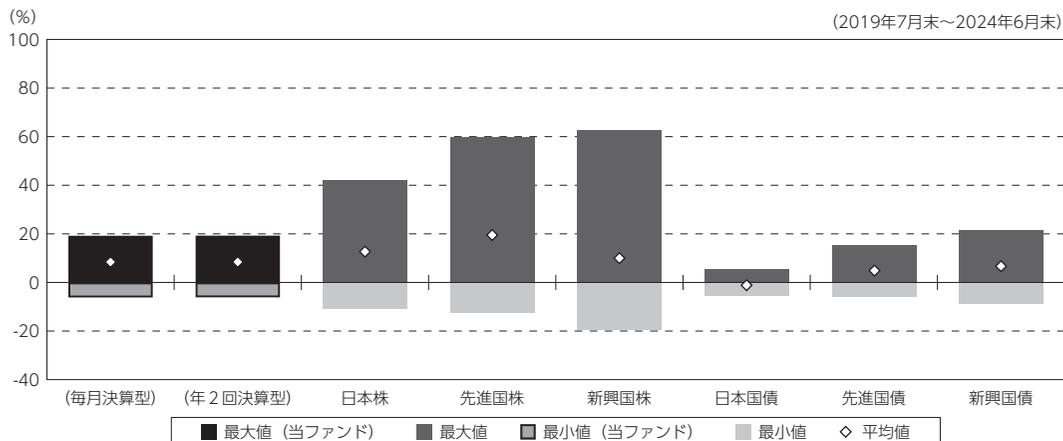
(変更後)	(変更前)
<p>主な投資制限</p> <ul style="list-style-type: none">●外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。●株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。●投資信託証券（マザーファンドの受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。	<p>主な投資制限</p> <ul style="list-style-type: none">●外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。●株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。●投資信託証券（マザーファンドの受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。●<u>デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。</u>

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 無期限 (2015年2月10日設定) (年2回決算型) 無期限 (2015年4月10日設定)	
運用方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券 (以下「公益インフラ債券」) に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日 (休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型) 原則として、毎年1月10日および7月10日 (休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	(毎月決算型)	(年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.2	19.3	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△ 6.2	△ 6.1	△ 10.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	8.4	8.4	12.7	19.5	10.0	△ 1.2	4.9	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年7月から2024年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

(毎月決算型)

当ファンドの組入資産の内容

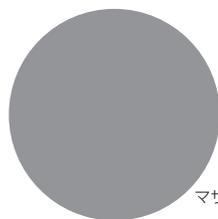
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第112期末
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	100.6 %
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

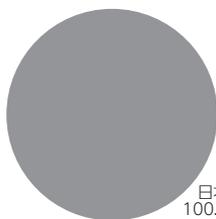
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

○資産別配分



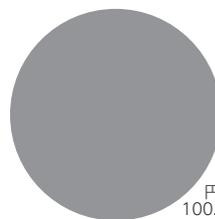
マザーファンド
100.6%

○国別配分



日本
100.6%

○通貨別配分



円
100.6%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

純資産等

項 目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
	2024年2月13日	2024年3月11日	2024年4月10日	2024年5月10日	2024年6月10日	2024年7月10日
純資産総額	41,611,423,619円	41,109,300,036円	42,557,659,419円	43,534,842,859円	44,754,171,282円	46,486,511,290円
受益権総口数	44,656,937,555口	44,818,028,425口	45,006,340,259口	45,155,209,825口	46,134,691,036口	46,741,704,586口
1万口当たり基準価額	9,318円	9,172円	9,456円	9,641円	9,701円	9,945円

(注) 当作成期間(第107期~第112期)中における追加設定元本額は6,240,271,897円、同解約元本額は3,604,444,247円です。

ファンドデータ

(年2回決算型)

当ファンドの組入資産の内容

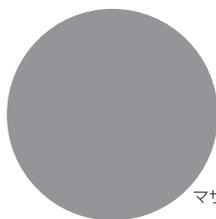
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第19期末
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	100.7 %
組入銘柄数	1銘柄

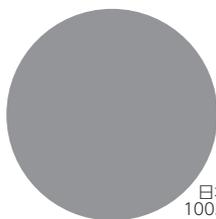
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

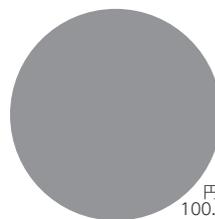
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

純資産等

項 目	第19期末
	2024年7月10日
純資産総額	19,485,397,040円
受益権総口数	11,446,823,064口
1万口当たり基準価額	17,023円

(注) 当期中における追加設定元本額は2,155,451,559円、同解約元本額は748,502,810円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年1月11日～2024年1月10日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年1月11日～2024年1月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	5	0.031
(保管費用)	(4)	(0.027)
(その他 1)	(1)	(0.004)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	5	0.031

期中の平均基準価額は、16,899円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2024年1月10日現在)

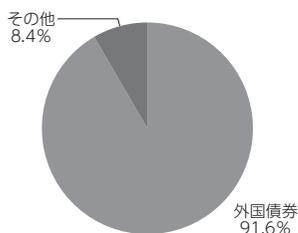
銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
1 インド国債	国債	7.1800%	2033/8/14	インド	8.7
2 インド国債	国債	8.2500%	2033/9/22	インド	8.1
3 インド国債	国債	7.2600%	2033/2/6	インド	6.4
4 インド国債	国債	7.5700%	2033/6/17	インド	3.9
5 パルティ・テレコム	社債	8.6000%	2024/12/5	インド	3.2
6 シッカ・ポーツ・アンド・ターミナルズ	社債	7.9500%	2026/10/28	インド	3.2
7 ムトゥート・ファイナンス	社債	8.6000%	2025/8/25	インド	3.0
8 REC	社債	8.3000%	2029/3/23	インド	2.5
9 LICハウジングファイナンス	社債	7.7201%	2026/2/12	インド	2.4
10 HDFC銀行	社債	7.7000%	2025/11/18	インド	2.4
組入銘柄数			59銘柄		

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

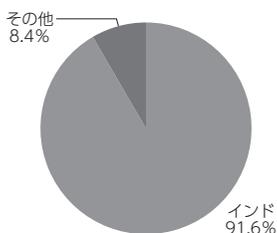
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

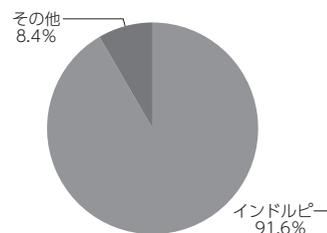
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。